

造形デザイン学科の入学受入れの方針

造形デザイン学科は、デザインによって地域特性を考慮した問題及びグローバルな視点で課題解決に取り組む、人間・社会・自然の関係性に十分配慮し、社会に貢献できるデザイナー及び造形のスペシャリストの育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 自己の将来像、職業人像をビジュアルデザイナー、造形デザイナーあるいは関連の職種に求め、そのための自己研鑽により、自己実現に向けて挑戦し続けることのできる学生
- 豊かな人間性と美を見極める感性、柔軟で論理的な思考力及び社会に企画提案できるデザインマネジメント力を身に付けたいと考える学生
- 諸科学の知識や技能の学びを通じて、知性と感性を融合させ、造形デザイン諸分野に必要なデザイン発想力や平面、映像、立体、空間等の造形技術力ならびに表現力を身に付けたい学生
- 社会における課題を洞察し、ビジュアルコミュニケーションデザインを解決策として考案し、企画提案力及び企画展開のマネジメント力を身に付けたい学生、または、アートとクラフトの融合分野において解決策を考案し、企画提案力及び企画展開のマネジメント力を身に付け、生活文化の価値を創造したいと考える学生
- 日本語による記述力、口頭発表力、企画提案力、作品等を通じたコミュニケーション能力、ならびに外国語によるコミュニケーション能力及びグローバルな視点を身に付け、多様な人々との協働により地域や国際社会に貢献したいと考える学生

II 募集人員

(人)

| 学 部 | 学 科 ・ 専 攻 | 入 学 定 員 | 左 の う ち | | | | | | |
|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------------------|-----|
| | | | 一 般 入 試 | | | 推 薦 入 試 | 帰 国 生 入 試 | 私 費 外 国 人 留 学 生 入 試 | |
| | | | 前 期 日 程 | 中 期 日 程 | 後 期 日 程 | | | | |
| 保健福祉学部 | 看護学科 | 40 | 20 | — | 8 | 12 | 若干人 | 若干人 | |
| | 栄養学科 | 40 | 25 | — | 3 | 12 | 若干人 | 若干人 | |
| | 保健福祉学科 | 社会福祉学専攻 | 40 | 24 | — | 4 | 12 | 若干人 | 若干人 |
| | | 子ども学専攻 | 20 | 10 | — | 4 | 6 | 若干人 | 若干人 |
| 情報工学部 | 情報通信工学科 | 50 | 14 | 23 | — | 13 | 若干人 | 若干人 | |
| | 情報システム工学科 | 50 | 14 | 23 | — | 13 | 若干人 | 若干人 | |
| | 人間情報工学科 | 40 | 12 | 15 | — | 13 | 若干人 | 若干人 | |
| デザイン学部 | デザイン工学科 | 40 | 30 | — | — | 10 | 若干人 | 若干人 | |
| | 造形デザイン学科 | 50 | 38 | — | — | 12 | 若干人 | 若干人 | |

(注) 1 この要項において「中期日程」は「公立大学中期日程」を指します。

2 帰国生入試及び私費外国人留学生入試の「若干人」は、一般入試の募集人員に含まれます。

III 一般入試

(1) 出願資格

次のア、イ、ウのいずれかに該当し、かつ、平成30年度大学入試センター試験で本学の入学志願者に解答させる教科・科目の全てを受験した者としてします。

ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳しくは岡山県立大学事務局教学課へお問い合わせください。

平成30年度大学入試センター試験の教科・科目の利用方法

＜保健福祉学部看護学科＞

| 日程 | 教科 | 科目 | |
|------|------|--|-------|
| 前期日程 | 国語 | 「国語」 | |
| | 地理歴史 | 「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」 | |
| | 公民 | 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 | |
| | 数学 | 「数学I・数学A」 | |
| 後期日程 | 理科 | 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 | から1:① |
| | | 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 | から2:② |
| | 外国語 | 「英語(リスニングの成績も利用する)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 | |

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) ①(2科目を解答した場合は第1解答科目)又は②のうち、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(P.7)も参照してください。

＜保健福祉学部栄養学科＞

| 日程 | 教科 | 科目 | |
|------|------------------------|------------------------------------|-------|
| 前期日程 | 国語 | 「国語」 | |
| | 地理歴史 | 「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 | |
| | 公民 | 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 | |
| | 数学 | 「数学I・数学A」 | |
| 後期日程 | 理科 | 「数学II・数学B」 | |
| | | 「物理」, 「化学」, 「生物」 | から2:① |
| | | 「物理」, 「化学」, 「生物」 | から1 |
| | 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」 | から2 | |
| | 外国語 | 「英語(リスニングの成績も利用する)」 | |

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) 同一名称を付した科目(例. 「化学」と「化学基礎」)の選択を認めます。

※ 学部共通の注意事項(P.7)も参照してください。

<保健福祉学部保健福祉学科（社会福祉学専攻・子ども学専攻）>

| 日 程 | 教 科 | 科 目 | | |
|-----------------------------------|---|--|-----|---------------------------------|
| 前期日程 後期日程 | 国 語 | 「国語」 | | 必須 |
| | 地理歴史 | 「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 | | から1又は2（理科の「基礎を付した科目」から2） （注） |
| | 公 民 | 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 | | |
| | 数 学 | 「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 | | |
| | 理 科 | 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 | | から2 |
| 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 | | | | |
| 外 国 語 | 「英語（リスニングの成績も利用する）」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 | | から1 | |

（注）解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(P.7)も参照してください。

<情報工学部情報通信工学科・情報システム工学科・人間情報工学科>

| 日 程 | 教 科 | 科 目 | | |
|------|-------|---------------------------------|--|-----|
| 前期日程 | 国 語 | 「国語」 | | 必須 |
| | 数 学 | 「数学Ⅰ・数学A」 | | 必須 |
| | | 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 | | から1 |
| 中期日程 | 理 科 | 「物理」 | | 必須 |
| | | 「化学」, 「生物」, 「地学」 | | から1 |
| | 外 国 語 | 「英語（リスニングの成績も利用する）」 | | 必須 |

※ 学部共通の注意事項(P.7)も参照してください。

<デザイン学部デザイン工学科>

| 日 程 | 教 科 | 科 目 | | | |
|-----------------------------------|-------|---|--|-------|--|
| 前期日程 | 国 語 | 「国語（近代以降の文章の成績のみを利用する）」 | | | から2又は3（理科の「基礎を付した科目」から2及び理科以外の教科の科目から1） （注） |
| | 地理歴史 | 「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」 | | から1 | |
| | 公 民 | 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 | | | |
| | 数 学 | 「数学Ⅰ・数学A」 | | | |
| | | 「数学Ⅱ・数学B」 | | | |
| | 理 科 | 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 | | から1:① | |
| 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 | | から2:② | | | |
| | 外 国 語 | 「英語（リスニングの成績も利用する）」 | | 必須 | |

（注）解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項も参照してください。

<デザイン学部造形デザイン学科>

| 日程 | 教科 | 科目 | |
|------|---------------------|---|------------|
| 前期日程 | 国語 | 「国語」 | 必須 |
| | 地理歴史 | 「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」 | から1 (注) |
| | 公民 | 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 | |
| | 数学 | 「数学I」, 「数学I・数学A」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 | |
| | 理科 | 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 | |
| 外国語 | 「英語（リスニングの成績も利用する）」 | 必須 | |

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項も参照してください。

(注：学部共通)

- 「簿記・会計」と「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- 「英語(リスニングの成績も利用する)」については、「筆記」及び「リスニング」の両方を解答している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。ただし、重度難聴などで「リスニング」を免除された者を除きます。
なお、「リスニング」を免除された者については、「筆記」(200点満点)の得点を外国語の教科の配点に換算します。
- 理科の「基礎を付した科目」は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指し、理科の「基礎を付さない科目」は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。

(2) 選抜日程等

ア 出願期間 平成30年1月22日(月)～平成30年1月31日(水)

イ 個別学力検査等の試験日、教科・科目等及び試験時間

| 学部 | 学科・専攻 | 日程 | 試験日 | 個別学力検査等の教科・科目等 | 試験時間 |
|--------|---------------------------------|------|-------------------|---|-------------|
| 保健福祉学部 | 看護学科 | 前期日程 | 平成30年 2月25日(日) | 小論文、面接 | 小論文 120分 |
| | 保健福祉学科 社会福祉学専攻 子ども学専攻 | 後期日程 | 平成30年 3月12日(月) | | |
| 保健福祉学部 | 栄養学科 | 前期日程 | 平成30年 2月25日(日) | 理科(化学基礎・化学、生物基礎・生物 から1)(注1) | 理科 120分 |
| | | 後期日程 | 個別学力検査等は課しません。 | | |
| 情報工学部 | 情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科 | 前期日程 | 平成30年 2月25日(日) | 数学 (数学I、数学II、数学III、数学A、 数学B(数列、ベクトル)) | 数学 120分 |
| | | 中期日程 | 平成30年 3月8日(木) | | |
| デザイン学部 | デザイン工学科 造形デザイン学科 | 前期日程 | 平成30年 2月25日(日) | 実技(鉛筆デッサン) | 実技 180分 |

(注1) 保健福祉学部栄養学科の理科(前期日程)においては、解答科目は試験会場で選択できます。選択科目間で平均点に著しい差が生じた場合は、得点調整を行うことがあります。

(3) 選抜方法・配点

大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書の内容を総合して行います。

なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用、調査書の内容や大学入試センター試験の成績による２段階選抜は行いません。

大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点は、資料「平成30年度岡山県立大学入学者選抜（一般入試）の実施教科・科目等」のとおりです。

（保健福祉学部P18～20 情報工学部P21 デザイン学部P22）

・個別学力検査等の評価基準

(7) 保健福祉学部

<看護学科>

小論文： 自然、社会、文化に関する課題について論述させ、理解力、思考力、文章表現力等を総合評価します。

面接： 集団による方法で実施し、出願書類を参考に学習意欲、表現力、社会性、協調性等を総合評価します。

<栄養学科>

理科： 1科目（化学基礎・化学又は生物基礎・生物）を課し、高等学校で得た基礎的な知識や技能、思考力、判断力、表現力等を総合評価します。

<保健福祉学科（社会福祉学専攻・子ども学専攻）>

小論文： 自然、社会、文化に関する課題について論述させ、理解力、思考力、文章表現力等を総合評価します。

面接： 個人面接を行い、学習意欲、コミュニケーション能力、社会福祉学専攻では福祉専門職、子ども学専攻では保育・教育専門職としての適性等を総合評価します。

さらに、社会福祉学専攻については福祉活動、子ども学専攻については保育・教育活動に貢献する意欲を評価します。

(イ) 情報工学部

数学： 記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力等を総合評価します。

中期日程では、個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

(ウ) デザイン学部

実技（鉛筆デッサン）： B3のケントボードに描かせ、デザイン工学科ではデザイン工学分野、造形デザイン学科では造形デザイン分野に必要な、観察力、構成力、描写力を総合評価します。

(4) 合格者発表

ア 発表日

| 学部 | 日程 | 発表日 |
|--------|------|---------------|
| 保健福祉学部 | 前期日程 | 平成30年3月 6日（火） |
| | 後期日程 | 平成30年3月21日（水） |
| 情報工学部 | 前期日程 | 平成30年3月 6日（火） |
| | 中期日程 | 平成30年3月21日（水） |
| デザイン学部 | 前期日程 | 平成30年3月 6日（火） |

イ 欠員補充の方法

各学部・学科・専攻の入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格者の発表を行います。